

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 生長の家神の国寮

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現が「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

①巣立ちの会(退寮生の就職・進学と自立を祝う会) ②職員の専門性向上に向けた施設内研修

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

- ①22年3月高校卒業を期に当施設を退寮し、大学・専門学校へ進学、又は就職して自立する児童の社会への巣立ちを在寮生・職員全員で心から祝福するとともに、退寮する児童の心に残るイベントとして、自立生活への精神的区切りの行事とします。
- ②精神科医又は臨床心理士等を講師として招いて、被虐児・発達障がい児の正しい理解と支援の具体的方法等の児童擁護の実践課題について研修を行い、職員の専門的ケア能力の向上を図ります。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- ①22年3月20日、立川市内において児童・職員全員でボウリング大会を行い、終了後、福祉会館において退寮生の社会への巣立ちを祝福する会を開き退寮生の自立に向けた人生の門出を祝うとともに、在寮生にとっては進級の意義を再認識するとともに自身の進路を考える機会とします。
- ②22年11月11日には、児童養護の現場に長年従事して実績のあるソーシャルワーカーを招き、被虐児・発達障がい児のケアと支援の課題等について研修いただきました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ①退寮生が当施設で過ごした十数年間の各種記録(写真、ビデオ、文章等)をもとに成長の記録を編集・映像化して巣立ちを祝福する会にて上映しました。本人、担当職員をはじめ在寮生、全職員ともに児童の成長過程が臨場感をもって表現されていて、本会の意義をより一層深めるのに大いに効果がありました。
- ②講師の選定に当たり、当施設の現在の課題を慎重に検討した結果、処遇現場での経験豊富な実績があり、現場に即した課題の整理が出来る講師を招き、より具体的・実践的な研修内容とすることに留意しました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

- ①楽しいボウリング大会、全児童・職員集まっての巣立ちを祝福する会など充実した一日となり、全員が退寮生に心を寄せるとともに在寮生自身が今後の進路を考える大変良い機会となりました。事実、本会終了後に様々な困難を排して大学進学への希望を語る高校生が出るなど、当初予想した以上に巣立ちの会の意義が浸透したことを実感します。
- ②実践経験豊富な講師から多くの示唆に富む助言が得られ、さまざまなケースについてどのような支援を行うことが児童の養護養育に役立つのかなど、具体的・実践的な研修内容となり職員の資質向上に寄与することができました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし